

社会福祉法人 日本点字図書館

感謝録

2020年7月

数多くのご支援に感謝いたします。



創立者・本間一夫の子ども向けノンフィクションが出版されました

感謝の言葉



社会福祉法人 日本点字図書館

理事長 田中 徹二

今年も感謝録をお届けする時期になりました。感謝録は、多くの皆様から当館をご支援いただいていることの「証」とも申せます。心から感謝申し上げます。

今年は例年比べて社会情勢が一変しております。新型コロナによる緊急事態の中、当館もその対応にたいへん苦慮いたしました。

その最大の悩みは、収入の減少です。当館の財政の約6割は、公益事業の視覚障害者用具の売上や点字資料製作の受注などに頼っています。社会福祉法人といえども、収入減に悩む中小企業とまったく同じ状況に追い込まれました。来年3月の決算がどうなるかたいへん心配です。

当館は今年創立80年を迎えます。創立記念日の11月10日には霞が関の灘尾ホールで記念式典の開催を予定しております。ボランティア・助成団体の皆様への感謝状の贈呈や第18回本間一夫文化賞受賞者の方の講演を行う予定です。

80年前、当館は点字図書700冊をそろえて開館しました。東京の雑司ヶ谷の借家でした。それが全国の視覚障害者の期待を集めるようになったのは、できあがった点字図書をご寄贈くださった大勢の点訳ボランティアの皆様のお陰です。太平洋戦争の戦中、戦後という生きること自体に苦難がつきまとう時代にも、点字図書はふえ続けました。それが当館の基礎になったのです。

それが今では、臨時職員を含めて約150人の職員が働く場になっております。点字・録音図書の製作には相変わらずたくさんのボランティアの皆様のお力添えをいただいております。当館の仕事を維持していくには、数百人に関わってもらっていることとなります。

このような状況をご理解いただき、例年にましてのご協力、ご鞭撻を切にお願い申し上げます。

2019年度事業のあらまし

館長 長岡 英司



2019年の6月には、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（通称「読書バリアフリー法」）が施行されました。視覚障害者の読書の可能性を拡大する取り組みを長年続けてきた当館の役割が、この法律によってますます重要になったといえます。

図書情報提供では、図書等の利用の拡大と新規利用者の獲得に力を注ぎました。「サピエ」（視覚障害者情報総合ネットワーク）の蔵書を希望に従ってダウンロードして提供するサービスを利用者の皆様に知っていただくよう努めた結果、SDカードでのデージー図書の提供が大幅に増えました。新規利用者を獲得する取り組みとしては、当館の施設公開行事「オープンオフィス」や館外の医療・福祉イベントで参加者の皆様に図書の利用登録のご案内をしたほか、盲学校での読書啓発の出張授業なども行い、1年間の新規利用登録者数が前年度を上回りました。また、当館がシステム管理を担っている「サピエ」で2つの大規模な改修を実施し、関連の団体や企業と協働して計画通りに成し遂げました。

図書製作では、点訳・デージー製作ボランティアの皆様のご尽力や「ワンブックプレゼント」などのご支援のおかげで、点字やデージーの蔵書を概ね予定通り製作できました。しかしながら、2019年度も図書以外の製作業務が引き続き増加し、製作現場は納期を守ることに苦心しました。そのような中で、点字製作では、当館が長年にわたり点訳初心者や点字学習者のために提供を続けている『点訳のしおり』の改訂版を6月に発行し、好評をいただきました。録音製作では、近年取りやめていた、スタジオ録音の朗読ボランティアの皆様を対象とする講習会を、試行的に再開しました。

2019年度は、用具販売、自立支援、「ふれる博物館」などのその他の事業も、ほぼ計画通りに実施できました。どの事業も順調に進められましたのは、皆様のご支援のおかげです。ここに改めて深く感謝申し上げます。各事業の実績につきましては、次ページ以降をご参照ください。

2019 年度 事業の実績

図書情報サービス

利用登録者数：12,982 人

新規収蔵図書数：点字図書 674 タイトル、録音図書 780 タイトル

蔵書総数：点字図書 22,352 タイトル (82,203 冊)

録音図書 22,612 タイトル (50,897 巻)

貸出数：点字図書 6,671 タイトル (23,407 冊)、録音図書 104,949 タイトル

ダウンロード提供数：点字図書 1,154 タイトル、録音図書 104,553 タイトル

専門対面リーディングサービス利用実績：延べ 499 人、1,014 時間

視覚障害者対象の I T 教室開催実績：延べ 81 人、164 回

レファレンス：視覚障害者図書情報提供 69,747 件

図書製作事業

製作数：点字図書 182 タイトル (733 冊)、音声デジター 401 タイトル (3,081 時間)

テキストデジター図書 328 タイトル、マルチメディアデジター図書 6 タイトル (42 時間)

月刊録音雑誌「にってんデジターマガジン」を 74,736 枚配布

ボランティア数：点訳ボランティア 64 名、朗読ボランティア 57 名

デジター編集ボランティア 13 名、テキストデジター編集ボランティア 54 名

録音図書ネットワーク製作システム参加ボランティア 89 名

クラウドソーシング型図書校正参加ボランティア 557 名

視覚障害者用具の販売あつ旋

年間取扱点数：905 種、87,774 点

新規取扱商品：「IH クッキングヒーター」、「ヴィゾルクスデジタル XL FHD (拡大読書器)」、「ブレイルセンスポラリス (音声・点字携帯情報端末)」、「UV カット折りたたみ傘」、「ボイスクッキングスケール」、「ソニーワンセグラジオ」、「ゴルフボール体験用すず入りボール」、「点訳のしおり新版」

厚生労働省委託・補助事業

〔視覚障害者用図書事業〕

点字図書：30 タイトル (6,675 冊) 製作、延べ 361 タイトル (1,258 冊) 貸出

録音図書：音声デジター図書 15 タイトル、マルチメディアデジター図書 6 タイトル製作、延べ 955 タイトル貸出

〔盲人用具の販売あつ旋〕

盲人用具 14 種、17,911 点

〔サピエ図書館の運営 (視覚障害者用図書情報等ネットワーク運営事業)〕

会員数：個人会員 17,832 人、施設会員 393 施設

提供数：

- ・点字データ 220,915 タイトル
- ・音声デিজリーデータ 95,503 タイトル
- ・テキストデিজリーデータ 8,949 タイトル
- ・マルチメディアデিজリーデータ 282 タイトル
- ・目録 1,144,108 タイトル



点字図書を郵送用のケースに入れる様子

利用数：

- ・点字データ 延べ 595,736 タイトル
- ・音声デিজリーデータ 延べ 3,424,551 タイトル
- ・テキストデিজリーデータ 延べ 278,257 タイトル
- ・マルチメディアデিজリーデータ 延べ 6,192 タイトル
- ・目録検索 3,260,714 件
- ・オンラインリクエスト 305,274 件

その他、全国の点字・公共図書館等に 69,747 件の情報を提供しました。

自立支援事業

相談支援：基本相談 271 件、計画相談 111 件

自立訓練（機能訓練）：実人数 31 人、延べ回数 1,193 回

医療機関に出向いての相談会：10 回

点字教室開催実績：延べ 579 人、146 回

東京都委託事業

[点字図書の製作・貸出]

・点字図書：43 タイトル（318 冊）製作、延べ 277 タイトル（1,119 冊）貸出

[声の図書の製作・貸出]

・声の図書：88 タイトル（440 枚）製作、延べ 3,891 タイトル（3,907 枚）貸出

[視覚障害者用図書レファレンスサービス]

・都内の視覚障害者、施設・団体に対し 35,445 件の情報提供

[希望図書の製作]

・個人の希望する点字図書：49 人・92 件、声の図書：133 人・181 件

海外支援事業

■池田輝子基金によりマレーシアにおいて第 16 回池田輝子 ICT 奨学金事業を実施しました。16 名参加（中級 8 名、上級 8 名）

■一般社団法人霞会館の助成によりブータン王国においてコンピュータ点字製作技術指導講習会を実施しました。10 名参加

本部事業

[ふれる博物館]

- ・ 第3回企画展「ルイ・ブライユの生家と指で巡る東京名所観光」
(協賛 株式会社はとバス)
2019年1月25日～5月25日(土)(当年度21日間) 来場者 406人
- ・ 第4回企画展「ルイ・ブライユと、さわって学べる点字の世界」
(協力 筑波大学附属視覚特別支援学校、株式会社国土社、公益財団法人共用品推進機構、公益財団法人日本児童教育振興財団)
2019年6月26日(水)～9月28日(土) 来場者数 641人
- ・ 第5回企画展「さわって確認! “働くクルマ”の博覧会」
(協力 株式会社タカラトミー)
2019年10月23日(水)～2020年3月14日(土) 来場者数 538人

特別企画

「夏休み子ども点字教室」(講師・点訳きつつき 齊藤宮子氏)

2019年8月22日(木) 参加者 25人

「耳で巡るはとバス東京観光」(協力・株式会社はとバス)

2019年4月18日(木) 参加者 36人

[視覚障害者関係墨字資料(奥村文庫)]

新規収蔵 980点、利用 940件

チャリティ公演

[チャリティーコンサート]

第17回本間一夫記念日本点字図書館チャリティーコンサート

「小林沙羅ソプラノリサイタル ～ピアノ、箏、尺八と紡ぐ歌の調べ～」

2019年11月22日(金) 東京文化会館 小ホール 来場者 300名

[チャリティー映画会]

秋の映画会 『星に語りて Starry Sky』

2019年9月12日(木) なかのZERO大ホール 来場者 245名

春の映画会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止

川崎市視覚障害者情報文化センター(設置:川崎市/指定管理事業者:日本点字図書館)

- ・ 利用登録者数:470名、290施設
- ・ 蔵書数:点字図書 3,157タイトル(11,470冊)、録音図書 5,932タイトル
- ・ 貸出数:点字図書 329タイトル、録音図書 9,491タイトル
- ・ ダウンロード提供数:録音図書 3,244タイトル
- ・ 図書製作:点字図書 47タイトル、音声デージー 89タイトル、テキストデージー図書 5タイトル、シネマ・デージー/音声ガイド 34タイトル
- ・ 訓練事業:訓練者数 42名、延べ回数 403回
- ・ 用具の点字と販売紹介:展示点数 281点、販売紹介点数 1,256点
- ・ イベントの開催:音声解説付DVD体験上映会、センターまつり、訓練生屋外交流会、コンサート、読書会、ヨガ体験会 他

子ども向け本間一夫ノンフィクションが出版されました

昨年8月、当館創立者本間一夫の子ども向けノンフィクションが出版されました。

書名は『読む喜びをすべての人に 日本点字図書館を創った本間一夫』。著者は児童文学者の金治直美さん。発行は佼成出版社です。

今までに、本間自身による自伝的な書籍の他、『愛の点字図書館長』（池田澄子文 偕成社）、『本間一夫 この人、その時代』（古澤敏雄著 善本社）が出版されていますが、いずれも本間本人へのインタビューを中心に執筆されたものであり、没後、それらの資料を参考に、周辺の人々への聞き取りをしながら書かれたものとしては初のノンフィクションです。

本間は1915年、北海道・増毛の豪商本間泰蔵の初孫として生まれ、将来を期待されておりました。しかし5歳で失明したため後を継ぐことなく、函館盲啞院在学中に生涯のテーマを見定め、1940年、25歳で当館を創立しました。本家は現在国稀酒造という酒蔵になっておりますが、今回の出版はこの酒蔵がきっかけとなっています。出版した佼成出版社の営業課長さんが入った居酒屋で、たまたま隣に座っていたのが国稀の常務取締役の方でした。話を聞くと本間家の生まれで日本初の点字図書館を創った人がいるとのこと。感動された営業課長さんは早速社内でも出版を提案され、今回の出版の運びとなりました。

著者の金治さんは、本間と同居されていた長男ご夫妻や、遠く増毛にある本間の生家、親戚を訪ね、また同地に疎開し点字図書館を貸出していた頃の増毛唯一の点訳奉仕者を訪ねて当時の話を伺うなど、関係者の声をもとに本間の点字図書館事業への情熱を綴っています。

「感動ノンフィクションシリーズ」という、小学校中学年以上を対象に出されているシリーズの最新刊で、本間の人生だけでなく、点字についてもやさしく紹介されている本書が、全国の小学校の図書室に置かれることを願っています。



『点訳のしおり』 新版発行

2019（令和元）年6月に『点訳のしおり』（新版）を発行しました。

日本の点字表記法を決定する唯一の機関である日本点字委員会が17年ぶりに『日本点字表記法』を2018年版として発行したことを受け、当館編集・発行の『点訳のしおり』も改訂いたしました。

この冊子は、創設者の本間一夫が当館の点字図書製作活動を支援してくださる点訳奉仕者のために点訳テキストとして『點譯の栞』^{てんやく}を発行（1942（昭和17）年）したのが始まりです。その目的は、「読みやすく、正確な」点字図書の製作を目指すことでした。その後、幾度かの改訂を経ていますが、点字の基本的なルールを“わかりやすく具体的に説明する”—この編集方針は現在も変わることがありません。

その上で、『点訳のしおり』（新版）も『日本点字表記法 2018年版』に準拠しながら、また、語例などは時代にあわせた内容になるよう見直し、整理いたしました。

主な改訂内容は次のとおりです。

- 見出しの整理、用例の一部変更
- 「ホームページやEメールアドレスなどの書き方」の新設
- 点字符号の名称変更（点訳者挿入符→点訳挿入符）、新しい点字符号の追加（アットマーク）
- 点字の手紙、点字の名刺の書き方 など

さらに、対象者を当館の点訳ボランティアにとどまらず、点訳グループや学校教育などより多くの皆様にもご活用いただける内容といたしました。冊子体もA5サイズとコンパクトな形のままになっています。



◆◆ ご寄付へのお礼とご報告 ◆◆

2019年度は、皆様から以下の通りご厚志を賜りました。

総件数 8,089件 (前年度 8,456件)

総額 106,247,679円 (前年度 123,754,649円)

その内訳をご報告いたします。

3,000円未満	628件	10万円以上 50万円未満	99件
3,000円以上 5,000円未満	2,682件	50万円以上 100万円未満	7件
5,000円以上 1万円未満	2,176件	100万円以上	9件
1万円以上 10万円未満	2,488件	合 計	8,089件

2019年度も、篤志ある皆様のご協力により、多額のご寄付を頂戴することができました。心より感謝申し上げます。

ご厚志をお寄せくださいました皆様、本当にありがとうございました。

このうち、1件はご遺贈として頂戴いたしました。謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

◆◆ 募金箱設置にご協力いただいた主な企業・団体 ◆◆

募金箱設置にご協力いただきました主な企業・団体のお名前です。30団体の皆様から、合計405,988円のご協力を頂戴いたしました。紙面の都合上、ご協力いただきました企業・団体すべてを掲載できず、申し訳ございません。

団 体 名		(五十音順)
朝日信用金庫		ザロイヤルパークホテル アイコニック 東京汐留
味工房一酔万笑		ステーキ屋ひろ
淡野ゴスペル		沼袋すがなみ眼科
株式会社M&Sスパ・プロジェクト スパ・サフロ		ハイアットリージェンシー東京
オリンピック眼科病院		林歯科医院
カラオケ館高田馬場店		復明堂眼科医院
医療法人湘山会 眼科三宅病院		富士レークホテル
キリンシティ		文右衛門そば
国稀酒造株式会社		NPO法人千夜一夜座

◆◆ ご寄付いただいた主な企業・団体 ◆◆

当館にご寄付いただきました主な企業・団体のお名前です。565 団体の皆様から、合計 12,074,830 円のご協力を頂戴いたしました。紙面の都合上、ご協力いただきました企業・団体すべてを掲載できず、申し訳ございません。全団体は、当館ホームページにてご覧いただけます。

団 体 名 (五十音順)	
イオンクレジットサービス株式会社	東京都立新宿高等学校図書委員会
株式会社エルエッチエス	ニシフミート株式会社
大西眼科	株式会社日本財託
株式会社偕成社	NPO法人日本ネイリスト協会
学習院女子中高等科図書委員会	P F U労働組合
神奈川県眼科医会	株式会社日立ビルシステム
株式会社ニデック	株式会社ファンケル
河和田屋印刷株式会社	有限会社F o r Y o u
観音寺	一般財団法人報国積善会
くりわだ法務事務所	三菱商事株式会社
こどもの園エーデルワイス	三菱食品株式会社
地福寺	三菱電機株式会社
宗教法人真福寺	真宗大谷派 開明寺
世界救世教 いづのめ教団 新宿教会	柳川特許事務所
一般社団法人全国銀行協会	有限会社ヤマニ大門
一般社団法人全国信用組合中央協会	医療法人社団雄飛会 平岡眼科医院
全国友の会	リネットジャパングループ株式会社
社会福祉法人中日新聞社会事業団東京支部	龍泉寺
東京Iゾントクラブ	有限会社菱和興産

◆◆ 企業・団体のボランティアのご協力 ◆◆

C S Rの一環として、次の企業の社員の皆様には、お昼休みを利用したボランティア活動で、用具事業課で使用する点字シールや、再生紙を利用した封筒作製にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

株式会社アートコーヒー、東京海上日動安心110番株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、日本郵船株式会社、三菱鉱石輸送株式会社、三菱商事株式会社、三菱食品株式会社、三菱商事フィナンシャルサービス株式会社

❖❖ ワンブック・プレゼント運動へのご支援 ❖❖

多くの企業・団体と個人の皆様からワンブック・プレゼント運動にご支援いただきました。この運動は、一口10万円単位のご寄付を点字図書・録音図書の製作費用に充てさせていただくものです。完成した図書には、ご寄付くださった企業・団体・個人の方のお名前やメッセージなどを表示して、利用される読者の方に皆様のご支援の一端をお伝えいたします。

点 字 図 書		録 音 図 書	
協力者	口数	協力者	口数
株式会社イオン銀行	20	株式会社イオン銀行	22
匿名	5	匿名	20
共同印刷株式会社	3	スカパー J S A T 株式会社	10
水野宏江	3	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5
株式会社サンセイランディック	1	ハウス食品労働組合	3
点訳きつつき	1	はんだこどもクリニック	3
古川京一	1	一般財団法人春めき財団	3
匿名	1	下野恵子	2
		大竹玉枝	2
		窪田美貴子	2
		株式会社日立ビルシステム マッチングギフトファンド	2
		匿名	2
		相関環（政子）	1
		石原紀子	1
		匿名	1
		株式会社サンセイランディック	1
		蔦屋書店	1
		株式会社ニデック	1
		山下実	1
点字図書 合計 8件	35口	録音図書 合計 19件	83口
点字図書、録音図書 総計 118口			

❖❖ 企業や団体からのご助成 ❖❖

企業・団体名	金額 (円)	助 成 内 容
社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団	100,000	第4回全国視覚障害者囲碁大会開催費
イオンリテール株式会社	50,600	「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」による助成
株式会社岩波書店	240,000	岩波新書等の録音版の製作・貸出
社会福祉法人NHK厚生文化事業団	100,000	第4回全国視覚障害者囲碁大会開催費
一般財団法人NHK サービスセンター	2,000,000	点字版「NHK ウイークリーガイド」の製作・頒布
一般社団法人霞会館	1,000,000	第25回アジア盲人図書館協力事業の実施(於 ブータン王国)
公益信託久保記念点字図書援助基金	500,000	点字図書製作のための物品購入費
埼玉県民共済生活協同組合	6,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出(視覚障害者の情報収集支援事業)
公益財団法人JKA	2,655,000	月刊録音雑誌「医学研究」及び「ホームライフ」の製作・配布(障がいのある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業)
全国ラジオチャリティミュージックソン実行委員会	1,000,000	録音図書デジター編集作業
公益財団法人鉄道弘済会	1,800,000	録音雑誌「ブックウェーブ」を製作・配布
株式会社トーハン	300,000	点字図書と録音図書を製作するための原本及び資料の提供
一般財団法人日本宝くじ協会	2,500,000	点字図書と録音図書の製作・貸出
公益財団法人パブリックリソース財団	60,350	点字・録音図書製作のための原本購入費
公益財団法人一ツ橋総合財団	5,000,000	録音図書「一ツ橋文庫」の製作・貸出
		マルチメディアデジター教材製作システム(ChattyInfty Online)の整備
		テキストデジター図書の製作・提供
株式会社文藝春秋	960,000	録音雑誌「文藝春秋」の製作・配布
公益財団法人毎日新聞東京社会事業団	100,000	第4回全国視覚障害者囲碁大会開催費
社会福祉法人読売光と愛の事業団	1,300,000	専門対面リーディングサービス事業の実施
		ロービジョンサービス事業の実施
		録音図書製作のための複製機購入費
社会福祉法人黎明会	444,000	全日本視覚障害者囲碁大会開催費

◆◆ チケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前 ◆◆

当館が主催したチャリティ映画会・チャリティコンサートのチケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前です。35団体の皆様から、合計887,000円のご協力を頂戴しました。紙面の都合上、ご協力いただきました企業・団体すべてを掲載できず、申し訳ございません。全団体は、当館ホームページにてご覧いただけます。

団 体 名		(五十音順)
N T T東京福祉文化事業団「ゆいの会」	世界救世教	いづのめ教団 新宿教会
株式会社岩波書店	大同通商株式会社	
大橋洋紙店	公益財団法人鉄道弘済会	
岡三証券株式会社	天理教東京教区まこと会	
オルフェウスコンサルティング株式会社	東亜ディーケーケー株式会社	
株式会社偕成社	一般社団法人東洋はり医学会	
学書院	株式会社日清製粉グループ本社	
国立職業リハビリテーションセンター	株式会社日本財託	
株式会社サン・データセンター	公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団	
公益財団法人社会福祉振興・試験センター	社会福祉法人ぶどうの木ロゴス点字図書館	
株式会社西武洋紙店	公益財団法人毎日新聞東京社会事業団	

◆◆ 当館主催のイベント等に協賛・広告掲載をいただいた企業 ◆◆

当館が主催したチャリティコンサート・オープンオフィス開催への協賛、また当館発行機関誌「にってんフォーラム」に広告掲載のご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

朝日生命保険相互会社、イオンクレジットサービス株式会社、株式会社イオン銀行、花王株式会社、國稀酒造株式会社、株式会社資生堂、シナノケンシ株式会社、株式会社タカラトミー、三菱電機株式会社、ロクシタンジャポン株式会社。

◆◆ 池田輝子基金事業のご報告 ◆◆

高田馬場の篤志家・故池田輝子氏より寄贈されたマンション2棟の家賃収入をもとに、録音図書を製作する池田文庫事業とアジアの若い視覚障害者の自立支援のためのパソコン技術を指導する池田輝子 ICT 奨学金事業を実施しました。

ICT 奨学金事業ではパソコン技術の指導や視覚障害者の自立や社会参加を進めるための知識等を身に付けてもらう事を目的とし、アジア各国から研修生が集まり、各国の視覚障害者福祉に関する発表やディスカッションを行い理解を深めました。

決算のあらまし

2019年4月1日から2020年3月31日

単位 (円)

事業活動による収支 (収入)	
障害福祉サービス事業収入	19,718,819
点字図書館事業収入	637,059,491
盲人用具販売事業収入	388,950,472
マンション経営事業収入	41,751,387
本部事業収入	3,214,900
経常経費寄附金収入	118,800,179
受取利息配当金収入	3,402,796
その他の収入	9,213,036
事業活動収入計 (1)	1,222,111,080
事業活動による収支 (支出)	
人件費支出 (法人負担分)	325,855,019
委託・補助金事業人件費支出	230,870,017
事業費支出	459,704,056
事務費支出	121,500,381
その他の支出	792,045
事業活動支出計 (2)	1,138,721,518
事業活動資金収支差額 (3=1-2)	83,389,562
施設整備等による収支 (収入)	
施設整備等補助金収入	57,916,489
施設整備等収入計 (4)	57,916,489
施設整備等による収支 (支出)	
設備資金借入金元金償還支出	4,182,000
固定資産取得支出	76,442,356
ファイナンス・リース債務の返済支出	4,852,000
施設整備等支出計 (5)	85,476,356
施設整備等資金収支差額 (6=4-5)	△ 27,559,867
その他の活動による収支 (収入)	
積立資産取崩収入	55,225,617
その他の活動による収入	973,253
その他の活動収入計 (7)	56,198,870
その他の活動による収支 (支出)	
積立資産支出	134,800,000
その他の活動による支出	1,610,329
その他の活動支出計 (8)	136,410,329
その他の活動資金収支差額 (9=7-8)	△ 80,211,459
当期資金収支差額合計 (10=3+6+9)	△ 24,381,764
前期末支払資金残高 (11)	
	124,656,196
当期末支払資金残高 (10+11)	100,274,432

日本点字図書館のあゆみ

1940（昭和15）年	全盲の青年 本間一夫が日本盲人図書館（現在の社会福祉法人日本点字図書館）を創立 蔵書700冊
1945（昭和20）年	戦災により本館焼失 貸出は疎開先で継続
1948（昭和23）年	焼け跡に仮建築で再出発 日本点字図書館に改称
1952（昭和27）年	社会福祉法人となる
1953（昭和28）年	本間一夫が朝日社会奉仕賞受賞
1954（昭和29）年	厚生省から点字図書製作事業の委託を受ける
1958（昭和33）年	声のライブラリー発足 テープ50巻、レコーダ1台
1960（昭和35）年	「中途失明者のための点字教室」を開始
1966（昭和41）年	視覚障害者用生活用具の開発と普及事業を開始
1976（昭和51）年	声の図書の「カセットテープ化」を開始
1989（平成元）年	厚生大臣特別表彰（身体障害者福祉功労団体）を受賞
1991（平成3）年	パソコン点訳者養成事業開始
1994（平成6）年	アジア盲人図書館協力事業開始
1996（平成8）年	専門対面リーディングサービス開始
1998（平成10）年	国費による新別館完成 皇后陛下ご臨席のもと新館披露の式典開催
1999（平成11）年	デジタル録音図書（CD図書）の製作・貸出開始
2003（平成15）年	本間一夫と日本点字図書館が、第10回井上靖文化賞を受賞 ロービジョンサポート事業開始 創立者本間一夫他界（享年87歳）
2004（平成16）年	録音図書ネットワーク配信サービス「びぶりおネット」開始
2005（平成17）年	ユニバーサルデザイン推進室（UDラボ）設置 録音図書ネットワーク製作システム（びぶりお工房）開始
2007（平成19）年	アジア太平洋障害者の10年の中間年記念 内閣総理大臣表彰受賞
2008（平成20）年	チャリティコンサートに皇后陛下のご臨席を賜る
2009（平成21）年	CD雑誌「にってんデイジーマガジン」創刊
2010（平成22）年	視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」開始 「日点みんなの集い」に皇后陛下のご臨席を賜る
2011（平成23）年	カセットテープによる録音図書サービスを終了
2014（平成26）年	川崎市視覚障害者情報文化センターの管理運営開始
2015（平成27）年	塙保己一賞貢献賞受賞
2017（平成29）年	指定特定相談支援事業および自立訓練（機能訓練）事業を開始
2018（平成30）年	日本点字図書館附属池田輝子記念ふれる博物館開設

役 員

理事長	田中 徹二
常務理事	長岡 英司 館長
同	伊藤 宣真 本部長
理事	芦田 真吾 東京都医師国民健康保険組合事務局長
同	岡本 厚 (株)岩波書店代表取締役社長
同	河 幹夫 (社福)日本心身障害児協会理事長
同	立花 明彦 静岡県立大学短期大学部教授
同	田中 敏雄 (社福)東京都福祉事業協会理事長
同	花島 弘 (公財)ダスキン愛の輪基金評議員
同	三田 誠広 作家・(公社)日本文藝家協会副理事長
監事	野田 聖子 弁護士
同	福母 淳治 前(公財)日本障害者リハビリテーション協会常務理事

評 議 員

新井 直弘	迫田 朋子	星川 安之	渡邊 岳
石橋 迪子	高橋 秀治	本間 一明	和波 孝禧
加藤真由美	富田 清邦	増渕 路子	
樽松 武男	福島 智	山岡 三治	

後援会長 阿刀田 高 (作家)



社会福祉法人 **日本点字図書館**

〒169-8586 東京都新宿区高田馬場1-23-4

電話 (03) 3209 - 0241 (代表) FAX (03) 3204 - 5641

ホームページ <https://www.nittento.or.jp/> Eメール nitten@nittento.or.jp

ゆうちょ銀行振替口座 一 般：00160 - 2 - 100288

取引銀行及び普通預金口座番号

みずほ銀行 高田馬場支店 普通 2855735

三井住友銀行 高田馬場支店 普通 92380

三菱UFJ銀行 高田馬場駅前支店 普通 167456

口座名：社会福祉法人 日本点字図書館 フリガナ：フク)ニッポンテンジトショカン

インターネットからもご寄付いただけます

で検索

(敬称は省略させていただきます)